

研究の実施に関する情報公開

令和 5 年 6 月 30 日

鹿児島医療センターでは、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

アポクリン腺過形成から発生するアポクリン癌の <i>PIK3CA</i> 遺伝子変異の解析検討	
1. 研究の対象	2014年3月より2023年3月までに、鹿児島医療センター、共同研究施設の静岡がんセンター(主研究施設)、駒込病院、大阪国際がんセンターでアポクリン腺過形成から発生したアポクリン癌の治療を受けた症例で、診断時年齢は20歳以上とします。
2. 研究目的・方法・期間	本研究は、アポクリン腺過形成から発生するアポクリン癌の病理学的特徴や遺伝子的特徴を明らかにすることを目的とします。研究施設の代表者は、診療録(紙カルテ/電子カルテ)および病理標本から後向きに調査を行います。研究実施期間は、倫理委員会承認日から西暦2024年12月31日までとします。
3. 研究に用いる試料・情報の種類	診療情報: 診療記録、病理プレパラート
4. 外部への試料・情報の提供(複数施設研究の場合記入)	研究にご協力頂いた個人が特定されるような情報は厳重に保護され、外部に出されることはありません。ただし、得られた研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、他施設へ提供されたり、学会や学術雑誌、及びデータベース上で発表されることがあります。
5. 研究組織(複数施設研究の場合記入)	<ul style="list-style-type: none">・独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科 松下茂人、青木恵美、西原克彦・静岡県立 静岡がんセンター 病理診断科 後藤 啓介(研究代表者)、平木 翼・信州大学医学部附属病院 皮膚科 木庭 幸子・地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立駒込病院 病理科 比島 恒和・地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 本間 圭一郎
6. 利益相反	ありません
7. お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報、及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書、及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。